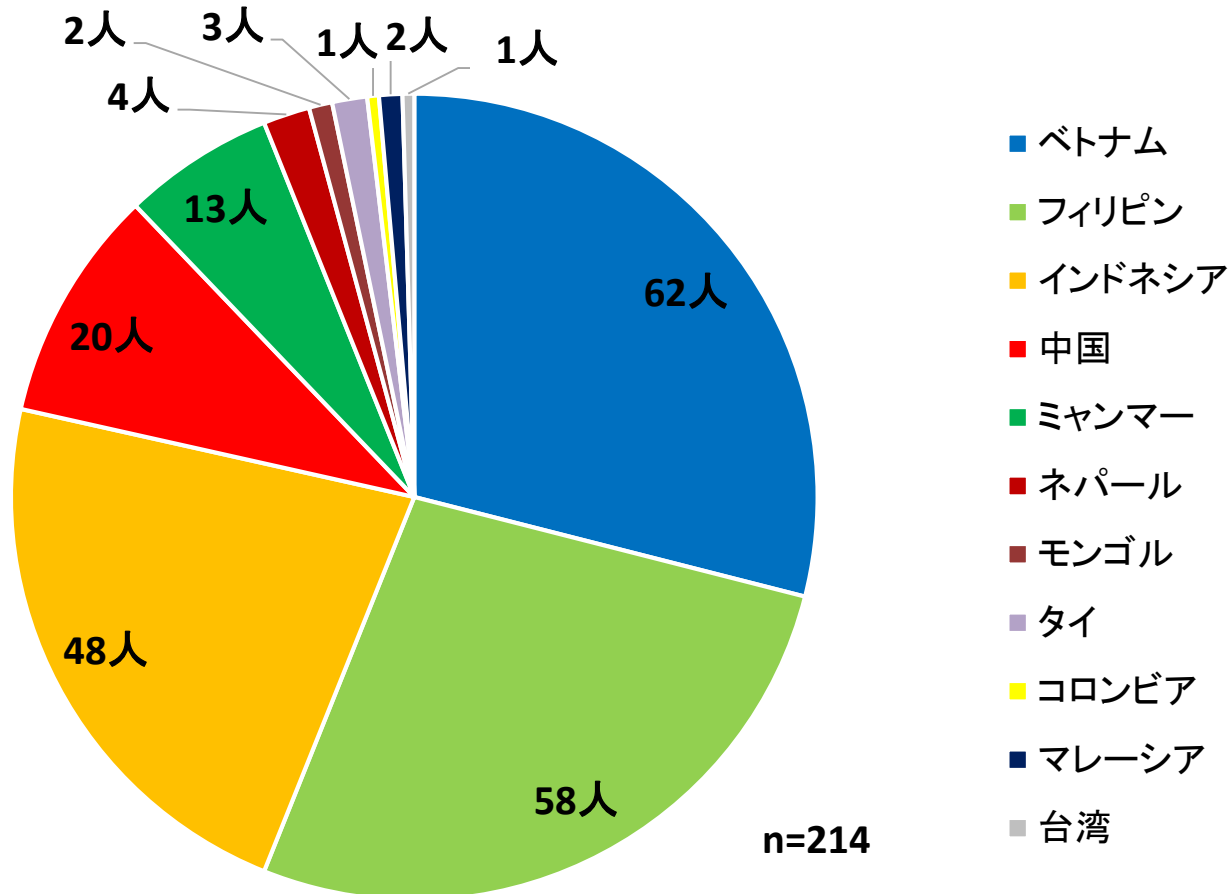


介護分野における 特定技能協議会への加入状況

特定技能外国人の国籍別の人数について

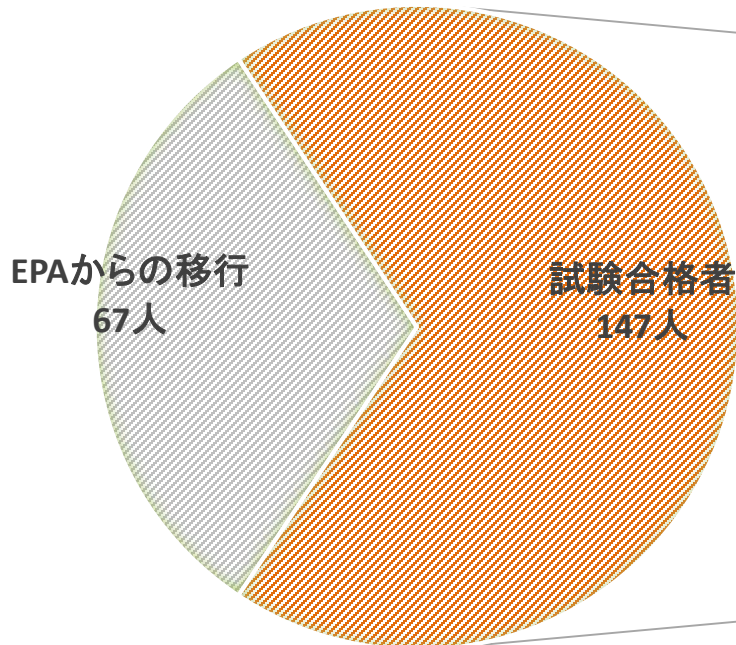
○ 特定技能外国人について国籍別にみると、ベトナムが62人と最も多く、次いでフィリピン(58人)、インドネシア(48人)、中国(20人)、ミャンマー(13人)の順となっている。



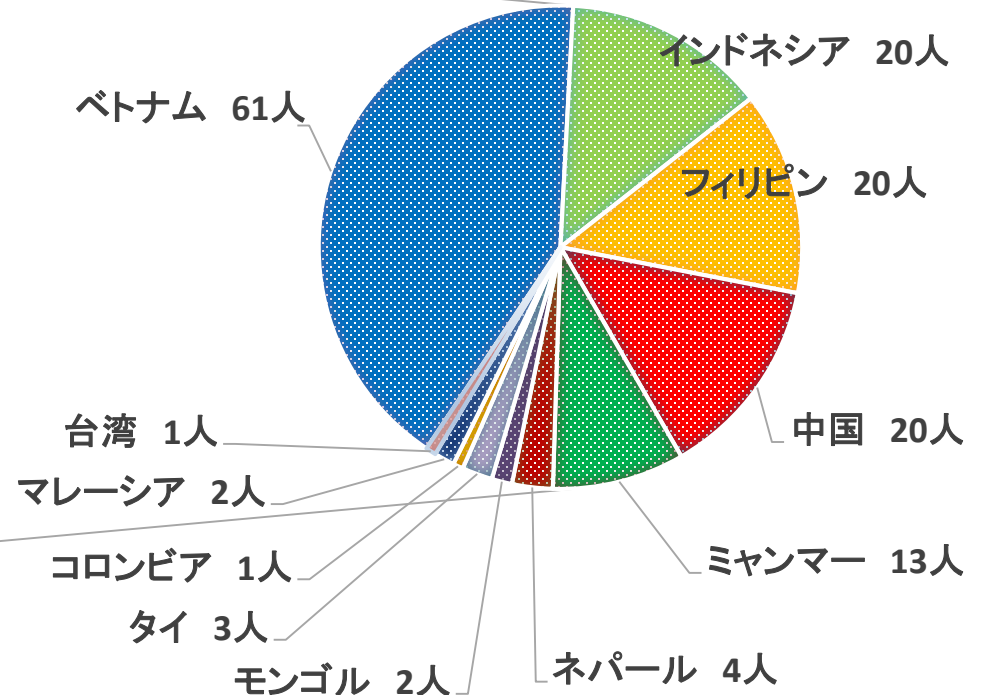
特定技能外国人の在留資格の取得経緯等について

- 特定技能外国人の在留資格の取得経緯としては、試験合格者が147人と全体の約3分の2を占めており、EPAからの移行による人数を上回っている。
- また、試験合格者の国籍をみると、ベトナムが61人と最も多く、次いでインドネシア・フィリピン・中国が各20人で続いている。

在留資格の取得経緯 n=214



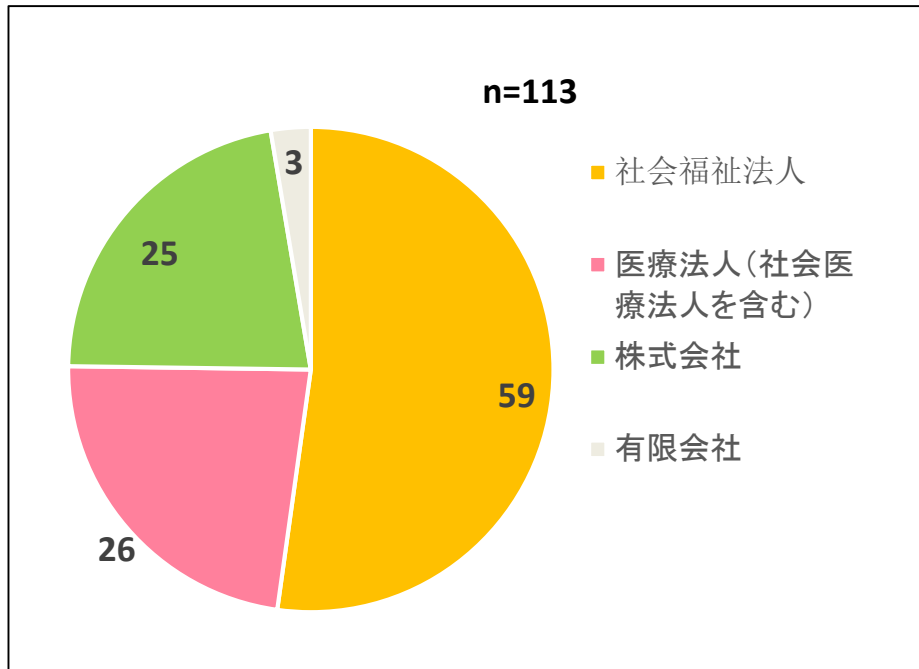
試験合格者の国籍 n=147



特定技能協議会の加入法人について

- 法人種類別にみると、社会福祉法人が全体の5割以上を占めており最も多い。次いで、医療法人と株式会社がほぼ同数で続いている。
- 地域区分別にみると、関東甲信越ブロックが最も多く、次いで近畿ブロック、東海北陸ブロックの順となっている。

法人種類別



地域区分別

